

## 第77回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和5年12月25日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(副部長) 神谷博達 (部会員) 合田美津子、仲川弘誓、佐藤文子、磯田大治 (読書活動家) 松山哲男、武者正樹 (庁内委員) 下沢亮一 (事務局) 大越智輝、相馬杏
欠席者	(部長) 大熊龍也 (部会員) 大坂倫一 (読書活動家) 松平孝子、河上邦子、藤原明日香、鎌田真理子 (庁内委員) 舘下貴子 (事務局) 鳥海秀充
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第77回「育み部会」資料(部長作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

### ○会議の要点

#### 1 本日の協議

- (1) 第21回～第23回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り
- ・第21回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「おはなしりぼん」
  - ・来場親子は4組、子どもの来場者は5名、絵本の貸出は1冊だった。
  - ・第22回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「パラテク」
  - ・来場親子は4組、子どもの来場者は7名、絵本の貸出は1冊だった。
  - ・第23回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「EHO ボラ」。クリスマスということで、「おはなしりぼん」と合同開催で行った。
  - ・来場親子は3組、子どもの来場者は4名、絵本の貸出は1冊だった。
  - ・「おはなしぽけっと」は、ブックファームあーにすの活動への参加を休止したとのことだったが、なぜ部会の資料の読書活動家に名前があるのか。
  - ・「おはなしぽけっと」について、本来の活動が多忙なため、読みか行かせ団体としての参加はできないとのお話しをいただいた際に、今後も時間のあるときに、絵本コーナーへご協力をいただきたいとお願ひした経緯がある。そのため、部会資料にも記載している。
  - ・絵本コーナーの活動について、今年の12月で2年が経過した。このあたりで総

括をするのはどうか。絵本コーナーの活動にどのような課題があるのか、また今後どのような活動にしていくのかを協議したほうが良いのではないかと。

- ・総括については、新たな展開を考える上でも良いかと思う。部会長と協議する。
- ・最近の絵本コーナーの状況を見ると、絵本コーナーに携わる関係者の家族や知り合いが来場してくれているというのが現状である。しかし、その中でも、家族や知り合いの友達、またロコミなどで来場される方もおり、少しずつ絵本コーナーが広まりつつあるのではないかと感じている。
- ・何度か絵本コーナーを担当しているが、アーニスの館内に子どもが沢山いると感じる日は一度もなかった。その中で、館内で声かけをし、絵本コーナーへ子どもを連れてくるのは難しいと感じる。
- ・読み聞かせ担当団体の皆さんが、来場されるお子さんに合わせ、親子が喜ぶような読み聞かせを実施し、絵本以外にもイベントや遊びの準備をしていただいていると回を重ねるごとに感じている。
- ・最近だと絵本の読み聞かせの他に、手遊びやマジックを実施していただいた。
- ・自分の回りには読み聞かせを行える子どもがおらず、知り合いを絵本コーナーに呼ぶこともできない。また、読み聞かせ団体のメンバーには、体調不良のため、読み聞かせの活動が行えないメンバーも出てきているのが現状である。
- ・高齢化など、いろいろな状況下の中で、どのように活動していくのか考えて行くことも必要である。
- ・図書館で読み聞かせを開催しても、来場する子どもが2～3人くらいなのが現状である。気長に辛抱強く行わなければ根付くものではないと、活動を始める際にお話したかと思う。
- ・実際に読み聞かせを担当してくれている方達が、やりがい感じられる活動が良い。

## (2) 今後の予定

(ブックファームあーにすについて)

- ・次回、第24回ブックファームは1月20日(土)10:00～12:00。

(のびのび公園の利活用について)

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、実施を中止していた、のびのび公園の利活用に係るアンケートについて、本年度は該当小学校と近隣住民の方へアンケートを実施している。
- ・アンケートの回答が出そろい次第、集計し、部会員へ報告する予定である。

(まちライブラリーの活動について)

- ・アーニス2階に古本屋が設置されている。そこに図書館で除籍になった本を集めてブックツリーというものを市内の学生と共同で作成し展示している。
- ・明日このブックツリーの解体イベントを実施し、好きな本を持って行ってもらうようにしている。また、このイベントでは、登別市社会福祉協議会の募金活動も行われる。

- ・絵本の読み聞かせの活動にフォーカスしすぎたのではないかと感じている。
- ・ブックツリーの解体イベントには、市内の学生や登別市社会福祉協議会などが企画しており、抱き合わせでイベントを実施している。ブックファームあーにすとしてもそのイベントに参加することができていれば、広がりが出ていたのではないか。
- ・ブックファームあーにすの目的について、本を読むことを広げ（種をまいて）、それによって子どもたちが集まる、変化する（根付かせる）ということだったかと思う。しかし、今の議論だと、ブックファームあーにすを開催しているこの場所にどのように人を集めるのかというトピックに変わっている感じがする。
- ・もちろん人が集まらなると読み聞かせを担当する団体のモチベーションが上がらないという話もわかるが、先ほど話があったように、根付かせるには時間も根気も必要ということではないかと思う。
- ・絵本の取り組みについて、それぞれの想いがあると思うが、現在、人が集まっていないという状況を考えると、目的達成のための手段（種をまくこと）が間違っていたのではないかと思う。もっと違う方法があったのではないかという議論が必要かと思うので、その議論の場としても総括をすることは良いのではないかと思う。
- ・今のメンバーだけの考えを持ち寄っても、広がらないのではないか。
- ・例えば、ブックファームあーにすでの月1回の読み聞かせの活動は継続して、年何回か、何かのイベントとコラボして絵本の活動を展開するというのも良いと思う。

## 2 次回の育み部会について

日時：令和6年1月29日（月）18：00～

場所：アーニス2階 あえる STATION